

《担当者名》 池森 康裕 sr528@hoku-iryo-u.ac.jp
高橋 由紀 下山 美由紀

【概要】

1. 実習施設の役割・機能・関係法規などを学ぶことにより、実習先の理解を深める。
2. 学内で習得する講義との統合を図りながら介護福祉の全体像がイメージできるように、講義と演習を行う。

【学修目標】

1. 円滑な人間関係を構築するためのスキルについて理解できる。
2. 家族の関わりや家族支援について理解することができる。
3. 基本的な介護技術を確認することができる。
4. 記録の意味と重要性について理解することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	実習の意義と目的、実習の構成、実習で何を学ぶか、事前学習への取り組み等についてのガイダンスを行う。 個人調査票の記入方法についてのガイダンスと実際に記入する。	池森
2	実習先の理解1	通所介護事業と利用者の生活像について理解する。 在宅生活を送る利用者の思いに触れ、自立支援のあり方を考える。 個人票を仕上げる。	池森
3	倫理について	・人間としての尊厳について理解し、介護職として求められる倫理観を考える。	池森
4	コミュニケーション	円滑な人間関係を構築するためのスキルを習得する。 実習生に求められる態度などロールプレイを行う。	池森 高橋 下山
5	記録の理解	・客観的な事実の記録の必要性の理解及び適切な記録方法を習得する。 *観察ポイントと表現方法を中心に	池森 高橋 下山
6	実習先の理解2	実習施設の理解（施設の役割・機能・関係法規など）する。 実習課題を検討する。 生活支援技術の確認をする。 実習先を決定する。	池森 高橋 下山
7	実習先の理解3	実習施設の理解（施設の役割・機能・関係法規など）する。 実習課題を検討する。 生活支援技術の確認をする。	池森 高橋 下山
8	実習先の理解4	実習課題を決定する。 実習先の利用者について理解する。 利用者が抱える多い疾患や障害等を理解する。	池森 高橋 下山
9	実習先の理解5	実習先の利用者について理解する。 利用者が抱える多い疾患や障害等を理解する。	池森 高橋 下山
10	事前訪問	・施設訪問で実習先を確認する。 *実習中の留意点や実習スケジュール等 ・施設先へ実習課題を提出する。	池森 高橋 下山
11	実習前の確認	・実習の注意事項や実習中の学習について最終確認をする。	池森 高橋 下山

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		・記録用紙の配布	
12	実習の振り返り1	・実習のまとめをする。 ・実習の体験や学習から学生間で課題を共有する。 ・実習報告会の準備を行う。 レジュメ・パワーポイント等の作成 ・報告書の作成の準備をする。	池森 高橋 下山
13	実習の振り返り2	・実習報告会の準備を行う。 ・報告書の作成の準備をする。	池森 高橋 下山
14	報告会	・実習の成果を報告する。	池森 高橋 下山
15	実習のまとめ	・実習評価、「介護実習」に向けてのアドバイス等を受ける。 ・実習報告書を作成する。	池森 高橋 下山

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

事前・事後学習への取り組みなど40% 介護実習報告会評価30% 実習報告書30%

【教科書】

特に使用しない

【参考書】

介護福祉士養成講座編集委員会（編）：最新・介護福祉士養成講座10『介護総合演習・介護実習 第2版』中央法規 2022

【備考】

この科目は介護福祉士国家試験資格取得のための領域「介護」の教育内容「介護総合演習」に該当する。

【学修の準備】

通所介護や訪問介護が必要としている方々の理解をを深めるために、高齢者の生活に関する情報を集める。
事前訪問までに施設の概要を把握しておくこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,3,4

【実務経験】

池森 康裕（介護福祉士・社会福祉士）、高橋 由紀（介護福祉士） 下山 美由紀（看護師）

【実務経験を活かした教育内容】

臨床および地域での介護・看護分野の専門職としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。